

# 井上まい

通信



公式HP



寄り添う政治  
で地域に尽くします!

- ◆令和6年第4回福岡市議会(9月定例会・決算審議)にて議案質疑および反対討論の場に登壇!
- ①「学びの多様化学校」が新たに設置されます!
- ②世界水泳福岡大会の残余金約19億円をスポーツ基金に
- ③福岡市地下鉄でタッチ決済がさらに使いやすくなります
- ◆福岡市民クラブ議会活動報告会を開催!

## 令和6年第4回福岡市議会(9月定例会・決算審議)にて議案質疑および反対討論の場に登壇!

9月4日～10月9日まで、福岡市議会9月定例会と、令和5年度決算特別委員会が開かれました。9月定例会では議案質疑に登壇し、市長提案の補正予算や条例案などについて質疑いたしました。また、令和5年度決算に関する審議については、本会議で会派を代表し反対討論に登壇し、認定しかねる理由について述べました。今回の井上まい通信では、9月議会で審議された議案の概要についてご報告いたします。決算および討論の内容については裏面をご参照ください。

### 9月議会で審議された議案について主なものをご紹介します。

#### ①「学びの多様化学校」が新たに設置されます!

設置についてはこれまでの既報の通りですが、今回の条例改正により、校名や場所が正式に決定いたしました。また、具体的なカリキュラム案なども教育委員会より示され、早速来年度の1期生の募集が行われました。学びの多様化学校とは、かつて不登校特例校と称していたもので、何らかの理由で地域の学校に通えなくなった子どもたちの新たな学びの場として、全国で設置が広がっているものです。通常の学校には通いづらい子どもたちの特性を考慮し、授業時間や学習内容などが柔軟に設定されています。本市においても、来年度より1校目となる学びの多様化学校が百道の教育センター内に、「百道松原中学校」として開校されます。子どもたちが学びの場として新たな選択肢を持つことができることは喜ばしいところですが、今回は中学生のみを対象とすること、また、1校のみの開校ということで、多くの子どもたちは通うことが現実的ではないことから、**小学生への対象拡大や、学校の多エリア展開など、全市の子どもたちの選択肢となりうるよう早期の改善を求めています。**



西日本新聞 9月11日朝刊

学校教育でお悩みの方は  
こちらをご覧ください。

教育相談・学びの  
相談ガイド



#### ②世界水泳福岡大会の残余金約19億円をスポーツ基金に

2023年に開催された世界水泳福岡大会については、当初開催経費について90億～100億円、市の負担金を35億～40億円と試算していたものの、コロナの影響による2度の延期や物価高騰などを理由に、最終的な開催経費が225億円、市の負担金が約127億円となり、当初の想定の3倍に膨れてしまったことが問題視されていました。今回の議案では、最終的に組織委員会から剰余金として返ってきた19億円を、市の一般会計に戻すのではなく、スポーツ基金に丸ごと積み立てるという議案でした。一般会計では用途に制限はありませんが、基金に入れると用途が限られます。元はと言えば、市民の皆さんからいただいた大切な税金が原資です。そのため議案質疑では、**一般会計ではなく基金へ積み立てる理由について合理的な説明を求めるとともに、今後の使い道については明らかにされなかったことから、その使用用途については今後しっかりと注視して参ります。**



#### ③福岡市地下鉄でタッチ決済がさらに使いやすくなります

市営地下鉄では、クレジットカードのタッチ決済の導入を2022年の実証実験からはじめ、これまで利用可能駅などを拡大し利便性の向上を図ってきました。昨年から、タッチ決済で利用した場合、事前に1日乗車券(640円で乗り放題)を購入せずとも、その日の決済額が640円を超えるとそれ以上は請求しないというサービスが始まっておりますが、今回は、月初めの1日から末日までの、タッチ決済乗車利用料金の請求額の合計額を1か月最大12,570円までとする条例改正が行われました。もちろん、通勤通学でご利用の方はこれまで同様定期券でのご利用の方がお得にご利用いただけますが、不定期に乗られる方にとっては便利なサービスになると思います。一方で、クレジットカードは全ての方がご利用されるわけではなく、むしろ、**交通系ICカードの利用の方が主流です。**システム上の課題が大きくICカードでの上限設定は現状難しいようですが、**より多くの市民が利便性を享受できるサービスを引き続き研究するよう求めました。**

福岡市地下鉄

タッチ決済はこのマークが目印です。



登壇の様子ははこちらから



9月4日  
議案質疑



10月8日  
反対討論



### 福岡市民クラブ議会活動報告会を開催!

今年で13回目を迎えた議会活動報告会ですが、今年からは市内3カ所に会場を増やし、それぞれのエリアで各担当議員がご報告をさせていただきました。井上まいは、9月13日に行われた南区のアミカス会場での報告会を担当させていただきましたが、多くの皆さまにご来場いただき大変有意義な議会活動報告会となりました。ご来場いただきました皆さまありがとうございました!



当日の報告資料や、会派の基本政策などは  
こちらからご覧いただけます



### 井上まい プロフィール

1989年(平成元年) 志免町生まれ  
2008年(平成20年) 福岡県立明善高等学校卒業  
2013年(平成25年) 九州大学 21世紀プログラム課程卒業  
2015年(平成27年) 株式会社リクルートジョブズ入社  
2018年(平成30年) 衆議院議員いなどみ修二 秘書  
2019年(平成31年) 福岡市議会議員選挙初当選  
2023年(令和5年) 福岡市議会議員選挙2期目当選  
所属会派: 福岡市民クラブ  
所属委員会: 教育子ども委員会・議会運営委員会・都市問題等調査特別委員会



〒814-0155 福岡市城南区東油山1丁目1-16 東野ビル1F  
TEL.092-874-2601 FAX.092-874-2602



みなさまのご参加  
ありがとうございます！  
ございました！

9/8、9/13、9/28に実施された議会活動報告会では、「会派基本政策2023」の進捗や、今年度特にお伝えしたい市政トピックなどについてご報告し、みなさまから多くのご意見やご要望を頂きました。

当日の資料はこちら



## 令和6年 第4回 福岡市議会 (9月定例会) 開催

第4回定例会(9月4日~10月9日)が召集され、一般会計補正予算案、条例の改正、令和5年度決算に関する議案等、全52議案について審議しました。

### 議案より 「マイナ保険証」に関連する条例案に反対!

**【改正内容】** 国民健康保険法の一部改正により「被保険者証」が廃止されることに伴い、条例中の関係規定を削るなど規定の整備を行うもの。※現行の(紙の)被保険者証を廃止するにあたり、マイナ保険証を有しない被保険者に代替措置として「資格確認書」を交付。

**【反対理由】** 国の法改正に伴う条例改正であることや、医療のデジタル化の必要性自体は認めるものの、マイナンバーカードと健康保険証の一体化について国民の理解が進まない中で、現行の紙の保険証を廃止することは事実上マイナ保険証への強制であり、任意取得原則の趣旨に反するとして、反対しました。

### 「ステップファミリー」に寄り添う支援を!

一般質問 [9月5日] 勝見 美代 (西区)



子どもを連れて再婚や同居をしてきた新しい家族・家庭のことを「ステップファミリー」と言います。本市においては教師や子育て相談窓口の職員をはじめ、子どもと関わる職種の方へのステップファミリーに関する研修や、当事者の方が相談できるようなリーフレット等での広報は行われていません。ステップファミリー特有の子育てに関する悩みや、以前の家族との複雑な関係などが、虐待や不登校・DV等を引き起こす要因の一つとなりえることから、再婚件数の3割という割合を占めているステップファミリーについて、まずは実態調査に取り組むなど、ステップファミリーにもっと目を向けていただきたいと要望しました。

### 特定小型原動機付自転車のマナーとルール

一般質問 [9月6日] 山田 ゆみこ (博多区)



昨年7月に道路交通法が改正され新たに定義された「特定小型原動機付自転車」(電動キックボード)を街中でよく見かけるようになりました。手軽で便利な乗り物ですが、不安定な面もあり、車や歩行者との接触事故が増加しています。この状況に対し、交通事業者や運輸事業者、一般ドライバーからは危険な運転に対する不安の声が上がっています。こうした懸念を受け、貸出業者や利用者に対して、利用者自身の安全を守るためのヘルメット着用や歩道走行時の注意喚起など、誰にでも分かりやすい周知を行うよう要望したところ、市政だよりや公式ウェブサイト、LINEを通じて広報を行うとともに、事業者にも安全利用促進を働きかけていくとの答弁をえました。

### 本市初の多様化学校は「百道松原中学校」に!

議案質疑 [9月4日] 井上 まい (城南区)



来年の4月開校に向けて準備が進んでいる学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の校名が「百道松原中学校」に決定しました。今回設置される場所がかつて「百道松原」と呼ばれていたという歴史から名付けられたそうですが、同時に一般的な学校名の方が通いやすいという子どもの声にも配慮しこの校名になったとのこと。カリキュラムについても、当事者の声を重視しより通いやすい学校となるよう配慮される予定です。本市にも様々な理由で不登校となった子どもたちが小中学校あわせて約4,400名いるとされています。今回は新たな中学校として開校しますが、小学生も対象となる学びの多様化学校の検討を早急に行うよう改めて求めました。

### 本市のインフラを守るセキュリティ対策を!

一般質問 [9月6日] 前野 真実子 (早良区)



重要インフラのサイバーセキュリティ対策について、方針と現状について確認しました。本市所有のインフラ(水道、地下鉄、港湾、病院)においては、外部のネットワークを遮断して対応、との答弁に対し、それでは不十分であるため、サーバーやシステムの脆弱性を検証するペネトレーションテストの実施を提案、国の財政支援の必要性についても提言しました。また本市のセキュリティ人材の育成については、AIやIoTなどの研究をおこなっている外郭団体の九州先端科学研究所との連携を求めるとともに、インシデント発生時の体制が不明確であるため、方針の策定を求めました。本市の方針は、DXとサイバーセキュリティは両輪で進めると、確認しました。

### キャリア教育のための体験型学習施設の整備

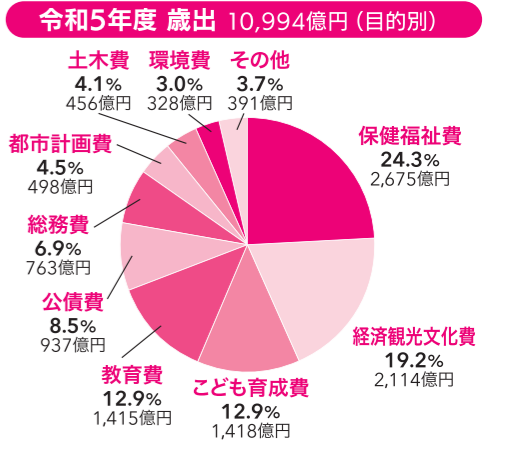
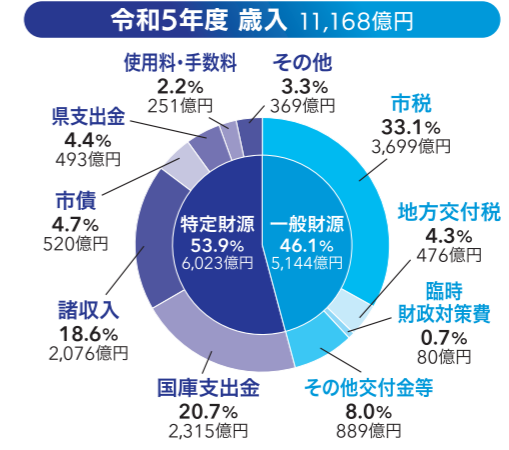
一般質問 [9月9日] 落石 俊則 (東区)



子どもたちは多くの働く大人との交流を通じて、仕事の価値観や体験を通じて今の暮らしが社会とつながっていることを知り、将来の自分の姿を想像し、学習意欲が高まります。そのためにも、全ての子どもたちが、ものづくりや職業体験、仮想の商店街で疑似経済活動を体験できる施設が必要であり、京都市や仙台市等をモデルに体験型学習施設の整備の検討を求めました。博多港へのコンテナ船の入港数は増加傾向にあり、福岡県内だけでなく九州全体の経済を支えています。一方、労働環境の厳しさに加え、土日祝日勤務や不規則勤務等により、港湾労働者不足が常態化しています。本市が中心となり官民連携で労働環境の改善を進めるよう要望しました。

## 令和5年度 決算特別委員会 開会 [9月19日(木)~10月8日(火)]

一般会計の歳入、歳出ともに前年度比1.8%の減となりましたが、市税収入は過去最高額を更新し、実質収支では、94億円の黒字となりました。一方で、歳出における義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は、公債費が減少しているものの、扶助費が増加した影響でほぼ横ばいとなっており、建設事業費などの投資的経費は、前年比12.9%増えています。今後も老朽化による公共施設の改修・修繕の需要が見込まれるため、引き続き歳入の積極的な確保を進める必要があります。



### 待たなし!伊都の里に市の水道を!

総会質疑 [9月20日] 田中 たかし (西区)



西区の「伊都の里」は企業管理の専用水道を使っていますが、災害時の復旧などに不安があることから住民は市の水道設置を求めてきました。しかし、伊都の里は給水区域と給水区域外が両存しており、給水区域を市水に切り替えると企業の経営が破綻し、給水区域外の専用水道の存続に支障を来すことから、水道局も企業も拒否しています。住人の意を汲み市水導入を求めてきましたが、水道局は市水導入の要望が住人の総意であれば設置すると明言。一方、給水区域外の住人から同意を得るには困難も多いため、まずは、災害時の市の迅速な対処と、加えて、住人と企業との協議には水道局が立合うことなどを求め、これについては前向きな答弁を得ました。

### 毎年3校、老朽化校舎の建替え計画始まる

総会質疑 [9月24日] 近藤 里美 (南区)



老朽化した学校施設にかかる費用は、大きな財政課題です。福岡市は、校舎の使用目標を80年に延ばしつつ、市内約240の学校施設を毎年3校ずつ建替える計画を立案。築年数の古い学校から協議を進め、まとまったところから順次実行に移すこととし、令和5年度は、吉塚中・菅松小・大楠小の3校の建替えが決定しました。建替えは、運動場側に新校舎を建設し、引越した後、旧校舎を解体するという反転が基本。これは、児童生徒への負担を軽減でき、引越しが一度で済むという利点がある一方、周辺地域の皆さまにとっては、住環境が大きく変わることになります。建替えの際は、地域の個々の声にしっかりと向き合って丁寧に進めるよう、要望しました。

### 令和5年度の一般会計決算を認定せず

決算審査方針に基づいた審議の結果、令和5年度一般会計決算について、会派として不認定と判断しました。令和5年度は、特に子育て政策の充実を全面に押し出し新規事業も多い年でしたが、「おむつと安心定期便」や、2年目を迎えた「子ども習い事応援事業」などの目玉事業について、利用率が低く、問題や課題が散見されました。年度途中で事業内容の改善や対象者の拡充などを求めています。最終日の討論の場で、その他の事業も含め、反対理由や決算から見た課題・改善点について述べました。



### 非正規公務員の給与・休暇等処遇の改善を!

総会質疑 [9月24日] 池田 良子 (西区)



人口増加に伴う行政職員の増員は、5年間で正規職員191人に対し、会計年度任用職員(非常勤職員)は453人と全職員数の約3割へと増加しています。正規職員で担うべき業務を非正規に置き換えるべきではない事を指摘。さらに、人事委員会報告で賃金が上昇しても、会計年度任用職員は翌年度から反映という不合理に対して、年度内に国の通知通り4月にさかのぼって支給すべきと指摘しました。障がい者差別解消条例の改正により、4月から「合理的配慮の提供」が民間事業者にも義務化されました。「合理的配慮の提供」とはどのようなことか具体的な対応を事業者を示すこと、併せて、段階解消のスロープ工事など配慮の提供を行う経費の助成制度を求めました。

### 民間企業への出資、基金の運用は適正か?

総会質疑 [10月7日] 田中 しんすけ (中央区)



本市は現在、株式会社16社に対して合計約147億円を出資しており、その大半に本市職員(OB含む)から役員を派遣しています。今回の総会では幾つかの出資事例を取り上げて質しましたが、「今後も出資を継続する必要があるのか」「果たして出資額は妥当なのか」という点において疑念が残る結果となりました。また、本市が保有する基金については、その数は全部で36基金、総額は約4,800億円にも上ります。今回の質疑では4つの基金を取り上げて、それぞれの基金の運用方針、残高の根拠などを質したところ、これらが明文化されていない状況が明らかに。恣意的な運用に陥らないように、基金の運用方針は要綱を作成して明記することを強く求めました。

### 国に対し意見書を提出、可決!

9月定例会に際し、福岡市民クラブより2点提出。他会派立案の意見書3点も含め審議しました。可決した意見書は、下記の通りです。

内容	立案者
地方財政の充実・強化を求める意見書	市民ク
建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	市民ク
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築を求める意見書	公明

※市民ク=福岡市民クラブの略